

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第1部門第2区分  
【発行日】令和6年1月22日(2024.1.22)

【公開番号】特開2022-156201(P2022-156201A)  
【公開日】令和4年10月14日(2022.10.14)  
【年通号数】公開公報(特許)2022-189  
【出願番号】特願2021-59781(P2021-59781)  
【国際特許分類】

A 6 1 B 5/02(2006.01)

A 6 1 B 5/0245(2006.01)

A 6 1 B 5/1455(2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/02 3 1 0 B

A 6 1 B 5/02 3 1 0 F

A 6 1 B 5/0245 B

A 6 1 B 5/1455

【手続補正書】

【提出日】令和6年1月12日(2024.1.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

生体に向けて、緑色波長帯を有する第1光を発光する第1発光部と、  
前記生体に向けて、前記緑色波長帯よりも長い波長帯を有する第2光を発光する第2発光部と、  
前記生体からの前記第1光を選択的に透過させるバンドパスフィルターと、前記第1光のうち、前記バンドパスフィルターを透過する光を受光する受光素子と、を有する第1受光部と、  
前記生体からの前記第2光を受光する第2受光部と、を備え、

前記第1発光部から前記第1受光部までの距離は、前記第2発光部から前記第2受光部までの距離よりも短い

検出装置。

【請求項2】

前記第1発光部および前記第2発光部と前記第1受光部との間に設けられ、前記第1光および前記第2光の一部を遮光する第1遮光壁をさらに備える

請求項1に記載の検出装置。

【請求項3】

前記第1発光部および前記第2発光部と前記第1受光部および前記第2受光部とを封止する封止層をさらに備え、

前記第1遮光壁の先端部は、前記封止層から突出している

請求項2に記載の検出装置。

【請求項4】

前記第1遮光壁から前記第1受光部までの距離は、前記第1遮光壁から前記第1発光部までの距離よりも長い

請求項2または請求項3に記載の検出装置。

10

20

30

40

50

## 【請求項 5】

前記第 1 発光部は、発光面に設けられ、前記第 1 光の発光方向を前記発光面の法線方向に偏向する光学素子を含む

請求項 1 から請求項 4 のうちのいずれか一項に記載の検出装置。

## 【請求項 6】

第 1 受光部は、前記バンドパスフィルターを透過し、前記受光素子で受光される光の入射角度を制限する角度制限フィルターを有し、

前記第 2 受光部は、前記生体から射出される前記第 2 光を選択的に透過させるバンドパスフィルターと、第 2 光の入射角度を制限する角度制限フィルターと、を有していない  
請求項 1 から請求項 4 のうちのいずれか一項に記載の検出装置。

10

## 【請求項 7】

前記第 2 受光部を基準とし、前記第 1 受光部と反対側に設けられた第 2 遮光壁をさらに備える

請求項 1 から請求項 6 のうちのいずれか一項に記載の検出装置。

## 【請求項 8】

前記第 2 受光部の受光面から前記第 2 遮光壁の先端までの高さを  $H$ 、

前記第 1 受光部および前記第 2 受光部が並ぶ方向における前記第 2 受光部の幅を  $W$ 、

前記第 2 受光部の前記受光面における前記第 1 受光部側の端部と前記第 2 遮光壁における前記第 2 受光部側の上端面とを結ぶ仮想線と、前記第 2 受光部の前記受光面とのなす角度を  $\theta$  としたとき、

20

前記第 2 受光部と前記第 2 遮光壁との間の隙間  $L$  が、次式を満たす値に設定される

請求項 7 に記載の検出装置。

## 【数 1】

$$L < H / \tan \theta - W$$

## 【請求項 9】

前記第 1 発光部および前記第 2 発光部は、第 1 方向に並んで配置され、

前記第 1 受光部および前記第 2 受光部は、前記第 1 方向と交差する第 2 方向に並んで配置される

30

請求項 1 から請求項 8 のうちのいずれか一項に記載の検出装置。

## 【請求項 10】

第 3 光を発光する第 3 発光部をさらに備え、

前記第 2 発光部は、前記第 2 光として、赤色波長帯または近赤外波長帯の一方の波長帯の光を発光し、

前記第 3 発光部は、前記第 3 光として、赤色波長帯または近赤外波長帯の他方の波長帯の光を発光し、

前記第 2 受光部は、前記第 3 発光部から発光され、前記生体から射出された前記第 3 光と、前記第 2 光と、を受光し、

前記第 1 発光部から前記第 1 受光部までの距離は、前記第 3 発光部から前記第 2 受光部までの距離よりも短い

40

請求項 1 から請求項 9 のうちのいずれか一項に記載の検出装置。

## 【請求項 11】

第 3 光を発光する第 3 発光部と、

前記第 3 発光部から発光され、前記生体から射出された前記第 3 光を受光する第 3 受光部と、をさらに備え、

前記第 2 発光部は、前記第 2 光として、赤色波長帯または近赤外波長帯の一方の波長帯の光を発光し、

前記第 3 発光部は、前記第 3 光として、赤色波長帯または近赤外波長帯の他方の波長帯の光を発光し、

50

前記第 1 発光部から前記第 1 受光部までの距離は、前記第 3 発光部から前記第 3 受光部までの距離よりも短い

請求項 1 から請求項 9 のうちのいずれか一項に記載の検出装置。

【請求項 1 2】

前記第 1 発光部は、前記第 1 方向において、前記第 2 発光部および前記第 3 発光部の間に配置されている

請求項 1 0 または請求項 1 1 に記載の検出装置。

【請求項 1 3】

請求項 1 から請求項 1 2 のうちのいずれか一項に記載の検出装置と、

前記検出装置による検出結果を示す検出信号から生体情報を特定する情報解析部と、  
を備える

測定装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明の 1 つの態様によれば、生体に向けて、緑色波長帯を有する第 1 光を発光する第 1 発光部と、前記生体に向けて、前記緑色波長帯よりも長い波長帯を有する第 2 光を発光する第 2 発光部と、前記生体からの前記第 1 光を選択的に透過させるバンドパスフィルターと、前記第 1 光のうち、前記バンドパスフィルターを透過する光を受光する受光素子と、を有する第 1 受光部と、前記生体からの前記第 2 光を受光する第 2 受光部と、を備え、前記第 1 発光部から前記第 1 受光部までの距離は、前記第 2 発光部から前記第 2 受光部までの距離よりも短い検出装置が提供される。

10

20

30

40

50